

馬市川



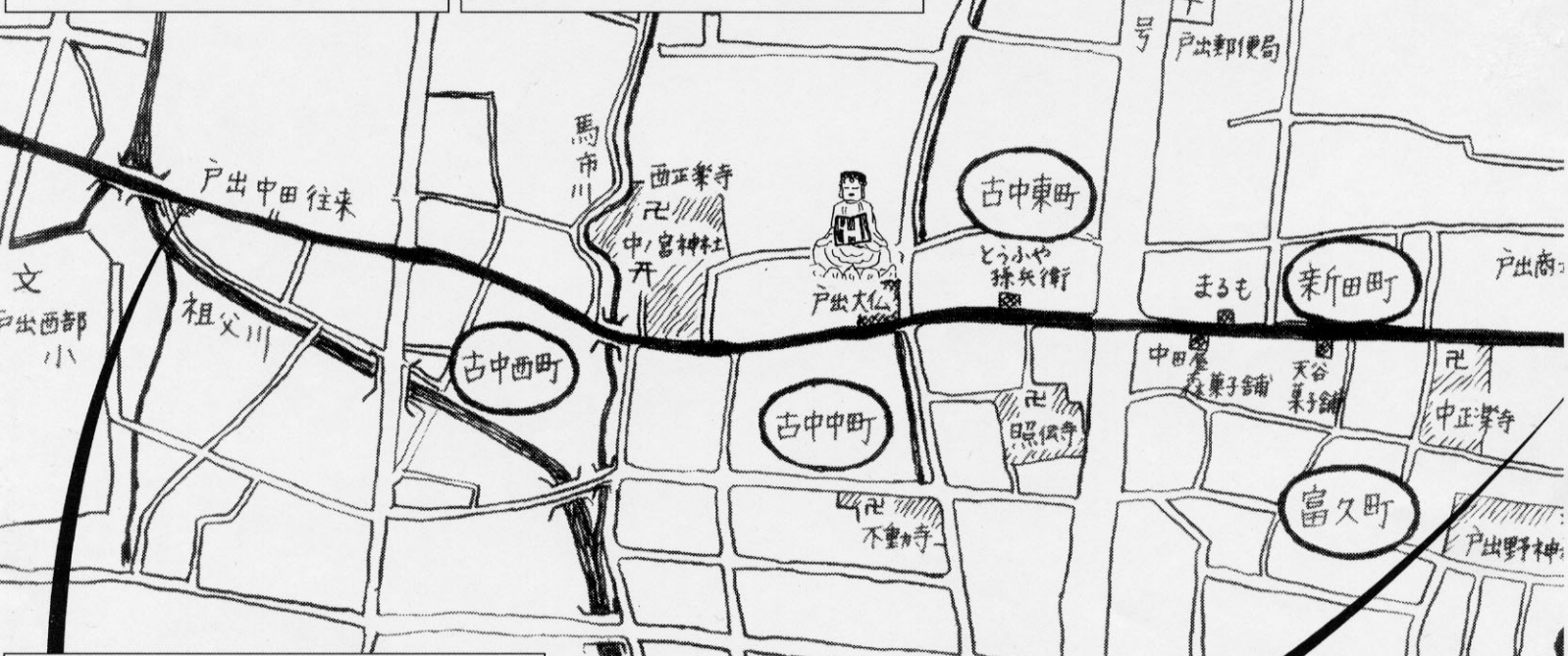
おたや
御旅屋跡（川合家跡）
3代藩主前田利常の命にた御旅屋は、後に管理責任戸出開祖の川合家に払い下げ、ここには推定樹齢380年の木や、前田のお殿様もお飲みになられた「膳水井戸」が今も残っています。この高代目川合又右衛門が藩祖前田利家を弔う山に参詣した際に持ち帰りこの地に植え伝えられています。

戸出のいま昔ものがたり

〜ちょっと歩いてみられませ〜

とうふや孫兵衛
安政5年（1858）創業。能登産の揚げ浜天然にがりを使った豆腐にはファンも多く、県内からだけでなく近県からも多くの客が訪れます。豆腐は近くのスーパー（新鮮市場・ヴァローレ戸出店）でも購入できます。

あまたに
天谷菓子舗
江戸時代の創業。戸出町で最初に饅頭を売り出した和菓子店。名物「天吉の饅頭」の表面には季節によって異なる焼印が押されます。絵柄で四季を楽しむことができます。さっぱり味の「きんつば」もオススメ。



一反橋地蔵
祖父川、松川の合流地点には一反橋と呼ばれる橋がかけられ、その傍には一反橋地蔵と呼ばれるお地蔵様がいらっしゃいます。北陸路の重要な街道を旅人の安全を祈るため、川の精霊に感謝する意味も込めて建立されたと考えられています。この前で手を合わせると、旅の安全を願った多くの人々の姿が浮かぶようです。

戸出野神社大鳥居
加賀藩屈指の豪商であった戸出の竹村屋茂兵衛の繁栄にあやかるため、伏木の廻船問屋・能登屋三右衛門らが寄進したといわれています。鳥居の柱の裏に寄進者の名が彫られています。大鳥居の御影石は瀬戸内海の小豆島産であると伝えられ、かつてこの地が千保川を通じて瀬戸内海や大阪、京都に繋がっていたことを思わせてくれます。

戸出大仏（古中の大地蔵）
井波の名石工・七次郎の作だといわれています。石造の座像では富山県内最大級の仏様です。阿弥陀如来像ですが地元ではお地蔵様として親しまれています。江戸時代後期、疫病が流行り多くの子供が犠牲になりました。その後、疫病退散と供養のため、古戸出村、中之宮村の住民が浄財を持ち寄って大仏の制作を依頼し、慶応3年（1867）5月に竣工しました。大仏様は今もやさしい目で町の子供の安泰を見守って下さっています。

戸出野神社
毎年秋季例祭の際には幌武者行列が行われます。各町の子供が太閤秀吉、加藤清正、源義経、巴御前などに扮し市街地を練り歩きます。元禄3年（1690）から続けられており、元禄の庶民文化を伝える貴重な祭りとなっています。

おたやもん
御旅屋門
御旅屋とは加賀領内で鷹狩りをしの際の休憩宿泊所です。7~10カ所れたといわれる御旅屋のうち、今いるのは戸出の御旅屋門だけです。戸出に御旅屋が建てられたのは代初期の寛永19年（1642）でこの門は本町の御旅屋跡にありました和33年に現在地・永安寺に移されま